Ver 1.1.10

WHSR-221 WHSR-222【2ch フロント・リア】

取扱説明書

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life

1. 目次

1. 目次 (2)
2. 禁止事項 (3)
3. 製品使用前の注意事項 (5)
4. 本体及び付属品 (7)
5. 各端子別ピンの配列 (8)
6. 製品案内 (9)
7. 各部位の名称及び機能 (10)
8. 本体の操作方法 (11)
9. 製品機能の説明 (14)
10. 取り付け時の注意事項 (15)
11. 取り付け手順 (16)
12. 室内用バックカメラの取り付け手順 (17)
13. 専用ビューアーをインストールする (18)
14. 専用ビューアーの実行及び削除 (19)
15. 専用ビューアーメイン画面の説明 (20)
16. ビューアーボタンの説明 (21)
17. ファイルを再生する (25)
18. ビューアーの環境設定 (26)
19. ユーザー設定（スマートレコ本体の環境設定） (27)
20. パスワードによる画像の暗号化 (28)
21. 暗号化したファイルを再生する (29)
22. 暗号化の解除 (30)
23. ファイルを指定して再生する (31)
24. 日付別に検索して再生する (32)
25. SDHC カードデータのダウンロードとフォーマット (33)
26. イベント記録 (34)
27. 運行記録表示と運転者情報入力 (35)
28. 運行記録表示 (36)
29. マップ表示 (37)
30. 録画ファイル情報表示 (38)
31. SDHC カードの保存データ (39)
32. ２チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数 (40)
33. １チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数 (42)
34. 製品仕様 (44)

保証書

2. 禁止事項

⚠警告	この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う恐れがある』内容です。	⚠注意	この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

⚠警告

- **運転中に操作をしないで下さい。**
  事故やけがの原因となります。操作や SDHC カードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させて行ってください。
- **分解、修理及び改造をしないで下さい。**
  修理やサービスは必ず近くの販売店へご依頼下さい。
- **水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具（電子レンジ、ドライヤー等）で乾燥させないで下さい。**
  爆発や変形、故障の原因となります。
- **濡れた手で触らないで下さい。**
  火災、感電、故障の原因となることがあります。
- **コードを挟んだり切ったりしないで下さい。**
  通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となることがあります。
- **機器内部に異物を入れないで下さい。**
  故障や火災、感電等の原因となります。特に、乳幼児にご注意下さい。
- **運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けないで下さい。**
  事故やけがの原因となります。
- **エアバックの妨げになる場所に絶対に取り付けないで下さい。**
  エアバックが正常に作動しなかったり、作動したエアバックで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- **本製品を故障や異常のまま使用しないで下さい。**
  万一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お近くの販売店にご相談下さい。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- **SDHC カードは乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。**
- **本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けてください。**
  固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- **本製品は洗浄しないで下さい。また、化学物質（ベンジン・シンナー・アルコール類）は使用しないで下さい。**
  爆発や火災が発生する可能性があります。

2. 禁止事項

⚠注意

- **エンジンを止めた状態 (駐車監視モード) で、本製品を長時間（約 24 時間以上使用しないで下さい。**
  車両を長時間使用しない場合は、メインスイッチを OFF にするか、電源端子から電源ケーブル端子を取り外して下さい。
  バッテリーが上がり、エンジンが始動しなくなる場合があります。
  バッテリーのコンディションにより、電源自動遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。
  車両のバッテリーが弱っている場合、画像が記録されない場合があります。
- **本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないで下さい。**
- **炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないで下さい。**
  スマートレコ本体の温度が動作温度（−20 ～ 70℃）外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなります。また、サンシェードとフロントガラスの間に SmartReco 本体があると、本体が高温になり、正常に作動しなくなる場合があります。
- **ケーブル・コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線して下さい。**
- **本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。**
- **本製品で記録した映像は個人で楽しむ目的以外では、著作権法・個人情報保護法などの法規のため、無断で使用することはできません。**
  また、使用方法によって被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますので、ご注意下さい。
- **本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては画像ファイルが記録されない場合があります。**
- **製品を取り付けたガラスは常にきれいにして下さい。**
  汚れている場合は、正常な走行映像を記録することができませんので、ご注意下さい。
- **車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります。**
  カーフィルムの濃度により、暗くなり、画質が低下する可能性があります。
- **LED 式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、正確に撮影されない場合があります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断して下さい。**
- **本体の自己診断機能により、電源をＯＮにしてから起動するまでに約１～２分の時間を要します。**
  本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を運転して下さい。

3. 製品使用前の注意事項

◆保証と責任の範囲

- ✓ 本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用する事により発生した損害に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 重要な画像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、SDHC カードを本体から取り外し大切に保管して下さい。
- ✓ 本製品は車の外部映像を録画 / 保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、映像が再生されないファイルが発生する可能性もあります。
- ✓ 本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品並びにユーザーマニュアルは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- ✓ 経年変化や、使用状況によってはバックアップ機能が作動しない場合があります。
- ✓ 本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめ下さい。
- ✓ 本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ✓ 衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害、本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないで下さい。また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないで下さい。弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品の専用ビューアープログラムは Windows XP SP3/ Windows Vista SP2 以上 / Windows 7 (Windows 7 は 32bit・64bit) の OS 環境に対応しています。(ディスプレイ解像度 1280×720 以上が必要です)
  ※注意※ Windows7 Starter、MacOS Linux 等には対応していません。
- ✓ パソコン本体の性能により一部ビューアーが正常に再生されない場合があります。映像再生がスムーズに行えるスペックが必要です。
- ✓ 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ✓ 本製品のご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用ください。
  また、本書はいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

3. 製品使用前の注意事項

◆SDHC カード使用時の注意事項

✓SDHCカードの抜き挿しは、必ず本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。※１
電源が入っている時にSDHCカードの抜き挿しを行うと、SDHCカードが破損するだけでなく、本製品が故障する場合が恐れがあります。
SDHCカードへのデータ書き込み中（LEDランプ点灯中）は、絶対にSDHCカードを抜かないで下さい。SDHCカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。SDHCカードを抜く場合は、スマートレコ本体の電源をOFFにし必ず本製品の全てのLEDランプが消灯したことを確認してから行ってください。

✓ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、ＬＥＤが暫く点滅します。ＬＥＤ点滅中はSDHCカードを本体から抜かないで下さい。

✓本体を使用する前に、SDHCカードに画像が保存されることを確認してから運用を開始して下さい。また、定期的にSDHCカードを点検して下さい。SDHCカードによっては、正常に録画されない場合がありますので、SDHCカードが正常に機能していることをご確認下さい。また、SDHCカードは必ず電源を切った状態で抜き挿しをして下さい。

✓SDHCカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないで下さい。

✓本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認して下さい。

✓本製品を安定して使用するために、少なくとも月１回以上の頻度でSDHCカードのフォーマットを行って下さい。
フォーマットの方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧下さい。

✓保存ファイルは定期的にバックアップをして下さい。
保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようにご注意下さい。

✓1CH⇒2CH、2CH⇒1CHに使用するチャンネル数を変更する場合は、現在使用中のSDHCカードを必ずフォーマットして下さい。

✓必ず弊社の指定するSDHCカードをご使用下さい。
弊社指定SDHCカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。
弊社指定SDHCカード：純正またはSanDiskクラス４以下（変換アダプターを利用するものは使用できません。）

※1 スマートレコの電源を切るには、メインスイッチをOFFにし、車両アクセサリー電源をOFFするか、電源端子から電源ケーブル端子を取り外してください。詳しくは「８．本体の操作方法パターン②」をご参照下さい。

SDHCカードには一般的に寿命があるため、長時間使用すると新しいデータを保存できない場合があります。このような場合には新しいSDHCカードを購入してご使用下さい。また、長時間使用によるデータの消滅に対して、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承下さい。SDHCカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意下さい。これらの事象に対して弊社では一切の責任を負いません。
事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためSDHCカードを即座に本体から抜いて別の場所で保管して下さい。複数のSDHCカードを所有されることをお勧めします。

4. 本体及び付属品

本製品の購入後、本体及び付属品が全て揃っていることをすぐに確認して下さい。
万一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご連絡下さい。

基本構成

本体

SDHCカード※1

電源
ケーブル
(メインスイッチ付き)

GPS
モジュール

映像
ケーブル

取扱説明書
＆保証書

e-分岐タップ

コードクリップ　5ケ
六角レンチ(ステー用)
両面テープ(予備)

オプション(別売)

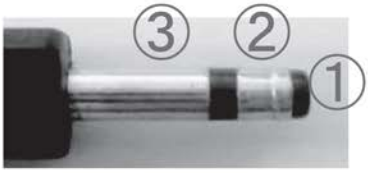
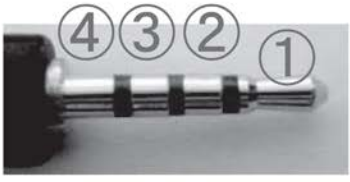
室内用バック
カメラ※2

延長ケーブル※2

シガー電源
ケーブル

上記の付属品は予告無く変更される場合があります。
（上記はイメージ画像ですので実物と大きさが異なります）
※1　専用ビューアは、付属のSDHCカードに保存されています。
※2　WHSR-222（2ch）では、室内用バックカメラ及び延長ケーブルは標準装備となります。

5. 各端子別ピンの配列

端子の区分	端子のイメージ	ピン配列
電源ケーブル端子 (DC Jack)		①GND ②ACC ③BAT
室内用バックカメラ 端子(3.5Φ)		①Cam Output (NTSC) ②VCC(5V) ③GND
GPS モジュール端子 (2.5Φ)		①VCC (3.6～6V DC) ②Rx ③GND ④Tx (GPS Signal Output)
映像端子 RCA 映像入力 2.5Φ映像出力		①VIDEO-IN ②GND
		①VIDEO-OUT ②N.C ③GND

※ 映像端子をVIDEO-IN端子付き映像機器に接続すると、
撮影中の映像を確認することが可能です。

6. 製品案内

◆製品紹介

本製品は前方･後方の映像及び音声を保存する自動車用ドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の前方映像/ 後方映像※1 / 室内音声を保存し、事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。

- 室内用バックカメラを接続した場合、2チャンネル(前方及び後方※1)の記録が可能です。

◆主な機能

-常時保存: 本体の電源がONの時は、前方映像及び後方映像※1を1分単位でファイルを作成し、Blackboxフォルダに保存します。

-イベント保存: 設定した衝撃を感知した、または強制保存ボタンを押した時点の前後15秒間を含む1分間の映像をEventフォルダに保存します。

-強制保存: 残したい画像を強制的にEventフォルダに保存します。

-駐車監視保存: 駐車時にモーションを感知すると自動的に前後15秒間(合計30秒間)の映像をParkingフォルダに保存します
(シガー電源ケーブルを使用している場合は不可)。
電源自動遮断機能:バッテリーを保護するため、予め設定された電圧値又は時間で本体の電源を自動遮断します。

-駐車衝撃保存: 駐車時に車両が衝撃を感知すると衝撃前10秒、後20秒間(合計30秒間)の映像をParkingフォルダに保存します
(シガー電源ケーブルを使用している場合は不可)。ファイル名の最後に『e』が付きます。
※使用するSDHCカードの容量に関わらず、最大30個のファイルが保存できます。

-バックアップ保存: 電源が切断された場合でも、バックアップ機能により最後のファイルを保存します。

-映像出力: 外部映像入力機能があるナビゲーションで撮影中の映像を出力することができます。
(但し、ナビゲーションによっては互換性がない場合もあります。)

-専用ビューアー: コンピューターに専用ビューアーをインストールすることで、録画された映像を再生することが出来ます。
また、事故時の状況(加速度、速度、位置など)を確認できます。

-パスワードの設定: プライバシー保護の為、パスワードを設定することができます。「２０.パスワードによる画像の暗号化」をご参照下さい。

-運行記録保存: 走行した日付/ 時間/ 走行距離が記録され、ビューアーを通じて走行ルートを追跡することができます。
地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。

-フォーマット機能: SDHCカードを本体でフォーマットする事ができます。

※1　WHSR-221(1ch)では、室内用バックカメラはオプション(別売)となります。

7. 各部分の名称及び機能

1.3メガメインカメラ

前部LED

駐車モードLED (青色)

メインスイッチ

後部LED

保存状態表示/GPS LED
(赤色/緑色)

音声マイク

SDHCカードスロット

RECボタン
音声OFF・モニター切替・強制保存・フォーマット

ブザー

室内用バックカメラ端子(CAMポート)

映像出力端子

GPSモジュール端子

電源端子(DC)

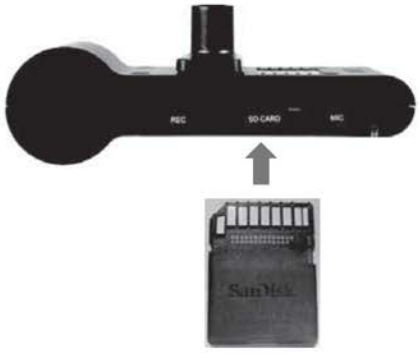
8. 本体の操作方法

本体のON/OFF方法

メイン スイッチ	イグニッション・アクセサリー	使用できる機能	パターン
ON	ON	常時録画・イベント録画	①
	OFF	駐車監視録画・駐車衝撃録画	②
OFF	ON	常時録画・イベント録画	③
	OFF	スマートレコ本体の電源OFF	④

シガー電源ケーブル使用	イグニッション・アクセサリー	使用できる機能	パターン
	ON	常時録画・イベント録画	⑤
	OFF	スマートレコ本体の電源OFF	⑥

SDHCカードの挿入方法



・SDHCカードの挿入の向きに注意して下さい。
・SDHCカードの書き込み禁止スイッチがLOCK解除の状態であることを確認して下さい。
・SDHCカードはカチッと音がするまで挿入して下さい。

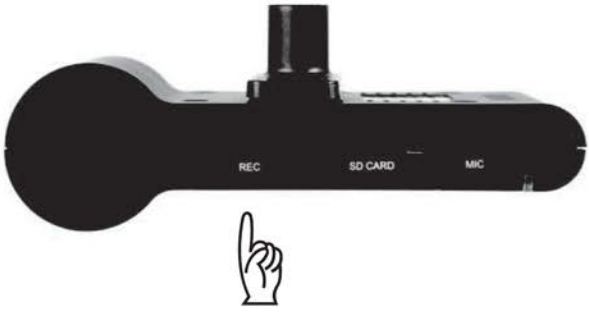
※ メインスイッチONの場合、スイッチ上部のLEDが緑色に点灯します。メインスイッチのLEDは車両のエンジンが始動している時に確認してください。イグニッションキーをOFFにするとLEDランプは消灯します。

※ 本体の電源がOFF（パターン④, ⑥）の時にSDHCカードの抜き挿しを行ってください。ONの時に抜き挿しを行うとSDHCカード及び本体が破損する恐れがあります。

8. 本体の操作方法（フォーマットの手順）

スマートレコ本体でSDHCカードをフォーマットする

スマートレコは、本体から直接SDHCカードをフォーマットする事が可能です。
スマートレコ後面にある「REC」ボタンを使用します。



エンジンを始動し、スマートレコ起動後にREC
ボタンを約15秒間押し続ける。

1. エンジンを始動してスマートレコを起動させます。

2. スマートレコの起動が確認できたら、RECボタンを約15秒間長押しします。
   長押し開始から順次以下のようなブザー音が鳴ります。
   約2秒後に「ピピ」短いピ音が2回
   約7秒後に「ピピ」短いピ音が2回
   約6秒後に「ピーピーピー」長いピ音が3回（フォーマット開始）
   この時、後部LEDが赤色と緑色と交互に点滅します。

3. 上記を確認した後、RECボタンから手を放します。
   約20秒後に「ピーピーピー」長いピ音が3回（フォーマット終了）
   （フォーマットの時間はSDHCカードの容量により異なります）

4. 後部LEDが正常に点滅（緑色または赤色）していることを確認して下さい。

SDHCカードは定期的なフォーマットが必要です。少なくとも1ヶ月に1回はフォーマットをしてください。

※ 万が一、後部LEDが正常に点滅しない場合（SmartReco本体が正常に起動しない場合）も、手順2. から行って下さい。
   または、このような場合はコンピューターを使用してフォーマットして下さい。

※ フォーマットすると、保存された映像は全て消去されます。

8. 本体の操作方法（使用時のポイント）

スマートレコは、５つの記録方式を備えた多機能ドライブレコーダーです。

1. 常時録画

メインスイッチのON・OFFに関わらず、アクセサリー電源がONになると起動し、運転中の映像を記録します。
起動には一定の時間（1分から2分程度）がかかりますので、LEDランプで起動を確認してから運転してください。

2. イベント録画

常時録画中に、予め設定してある値より大きな加速度を検知すると、ブザー音が鳴り、その時から前後15秒を含む1分又は2分間のファイルをイベントフォルダーに記録します。

3. 強制録画

常時録画中に、RECボタンを短く1回押すと、強制的にその時から前後15秒を含む1分又は2分間のファイルをイベントフォルダーに記録します。

4. 駐車監視録画

メインスイッチがONの時に、アクセサリー電源をOFFにすると（エンジンを止めてイグニッションをOFFにした時）、常時録画モードから駐車監視モードに切り替わり、メインカメラ及びバックカメラが一定のモーション（動き）を感知すると、その時から前後15秒間をパーキングホルダーに保存します。
スマートレコは車のバッテリー電源を使用しているため、バッテリー電圧が設定値まで下がると、自動的に電源が遮断されます。ただし、車両自体が微量な電流を消耗しているため、そのまま放置するとエンジン始動が困難となる可能性があります。24時間以上お車を使用しない場合は、メインスイッチをOFFにして下さい。
また、バッテリーの状態により、長時間使用できない場合があります。
詳しい内容は販売店スタッフへ問合せ下さい。

注意：シガー電源ケーブル使用時及びメインスイッチがOFFの時は駐車監視・衝撃録画はご使用になれません。
「８．本体操作方法（P.11）」パターン②をご参照下さい。

5. 駐車衝撃録画

メインスイッチがONの時に、アクセサリー電源をOFFにすると（エンジンを止めてイグニッションをOFFした時）、常時録画モードから駐車監視モードに切り替わり、G（加速度）センサーが一定の衝撃を検知すると衝撃前10秒、後20秒の映像をパーキングホルダーに最大30ファイルまで保存します。ファイル名の最後に『e』が付きます。

注意：シガー電源ケーブル使用時及びメインスイッチがOFFの時は駐車監視・衝撃録画はご使用になれません。
「８．本体操作方法（P.11）」パターン②をご参照下さい。

9. 製品機能の説明

動作	操作	状況	ブザー音	LED 表示
起動	電源ON (イグニッションON)	セルフチェックを行う	長いピー音	赤色と青色のLED が点灯 (本体起動までに 約1～2分要します)
常時 保存	エンジンを 始動する (イグニッションON)	走行時の運行状況を Blackboxフォルダに 記録する	ー	赤色または緑色の LEDが点滅 (音声OFF時はゆっくり点滅) 青色のLEDは消灯
強制 保存	RECボタンを 短く1回押す	1分間映像を記録し、 強制的にEventフォルダ に映像を移動	録画開始時に ピッ音2回 録画完了時に ピッ音1回	緑色または赤色の LEDが点滅
出力 切替 ※	RECボタンを 2秒以内に 短く3回以上押す	モニター切替 (後方カメラ⇔前方カメラ)	短いピッ音2回	ー
音声 OFF	RECボタンを 2秒以上長押し	録音機能をOFFにする	短いピッ音2回	緑色または赤色の LED がゆっくり点滅
フォーマット 機能	RECボタン 約15秒間長押し	SDHCカードの フォーマットを行う	開始時長いピー音3回 完了時長いピー音3回	赤色と緑色のLEDが 交互に点滅
ー	GPS受信	GPS作動	ー	緑色のLEDが点滅
駐車 監視 保存	エンジンを 切る (メインスイッチ ONの場合)	モーションを感知すると 前後15秒(計30秒間)の 映像をParkingフォルダに 記録する (常時電源接続時のみ利用可)	ー	駐車監視時: 青色のLEDが点滅 録画時: 青色のLEDが早く点滅
電源 OFF	エンジンを 切る (メインスイッチOFFの 場合、及びシガー電源 使用の場合)	最新映像を保存した後 電源OFF	ー	全てのLEDが消灯

※ 映像入力機能があるナビゲーションやモニターで映像を再生する場合に使用します。

10. 取り付け時の注意事項

- ◆ 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けて下さい。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行って下さい。(シガー電源ケーブルを使用する場合は除く)。
- ◆ 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行って下さい。
- ◆ 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けて下さい。※ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。
  「審査事務規定第5章5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。
- ◆ SRS(エアバック)等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないで下さい。
- ◆ ガラスの塗装部分及び熱線などは避けて取り付けて下さい。脱着時に塗装部分及び熱線が剥がれる恐れがあります。
- ◆ 室内用バックカメラを接続する場合は、必ず本体の電源端子から電源ケーブル端子を取り外した状態で行って下さい。
- ◆ 本製品を取り付けたフロントガラスは常にきれいにして下さい。
- ◆ 室内用バックカメラをリアガラスに取り付ける場合、カーフィルムや熱線によって画質が低下する可能性がありますのでご注意下さい。
- ◆ 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。
- ◆ 本製品のGPSモジュールは他の電波を利用した製品の本体やアンテナから５０ｃｍ以上離して取り付けて下さい。
  電波を利用した製品の例GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。
  場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意下さい。
  また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。
  状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択してください。
- ◆ 本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSと距離を離して取り付けて下さい。
  電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源ケーブルを電源端子から取り外し、再度接続して下さい。
- ◆ 電波障害により、アナログテレビが正しく表示されない場合があります。
  この場合、アナログテレビの使用を中止して下さい。

11. 取り付け手順

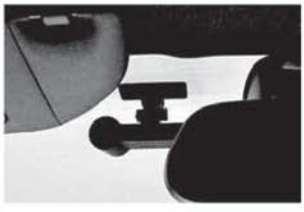
1

取り付け位置を決定し、フロントガラスをできる限りきれいにします。

2

フレキシブルステーの接着テープの保護フィルムを取り外します。

3

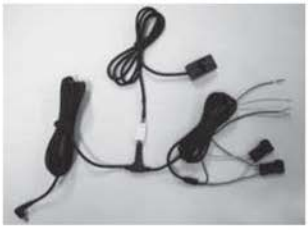


視界の妨げにならない位置に取り付けます。また、サンバイザーやSRS（エアバッグ等）に影響の無い場所を選んでください。

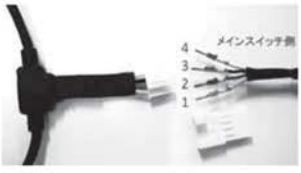
4

GPS端子を接続します。
リアカメラ端子を接続します。
最後に電源ケーブル端子を接続します。

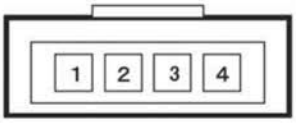
5



電源の接続は自動車整備認証工場または指定工場で行って下さい。(シガー電源ケーブルを使用する場合は除く)
-黒色: GND　-黄色: B/T　-赤色: ACC



電源ケーブルとメインスイッチは4ピンコネクタで接続します。スイッチ側のコンタクトピンは、配線の作業効率を上げるため、コネクタに差し込まれていません。
車両に配線を取り回し、スイッチを所定の場所に設置した後、コンタクトピンをコネクタに差し込んで下さい。



上図は、カプラを差込む方向から見た図です。
【配線の色】
1ー黄, 2ー赤, 3ー黒, 4ー白

6

LEDランプとブザー音で本製品が正常に動作しているか確認します。映像端子をVIDEO-IN端子付き映像機器に接続すると映像を確認することが可能です。

12. 室内用バックカメラの取り付け手順

設置(乗用車、SUV)

1

電源端子から電源ケーブル端子を取り外します。

2

取り付け位置を決定し、リアガラスをできる限りきれいにします。

3

ブラケットの接着テープ保護フィルムを取り外します。

4

視界の妨げにならない位置に取り付けます。

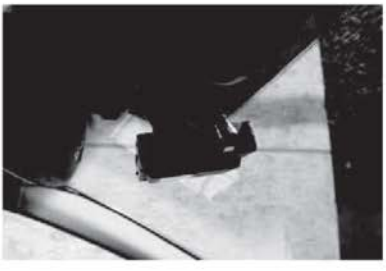
5

室内用バックカメラと延長ケーブルを接続します。

6

室内用バックカメラの延長ケーブルを本体のCAMポートに接続します。

7



電源端子に電源ケーブル端子を接続してください。

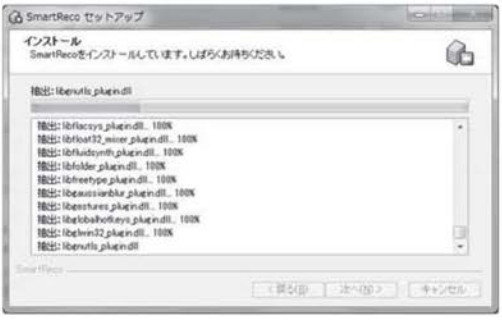
13. 専用ビューアーをインストールする

1. パソコンの全てのアプリケーションを終了して下さい。
2. 付属のSDHCカードをコンピューターに挿入し、
   SDHCカード内の(SmartReco.exe) インストーラーをダブルクリック
   します。以下の手順でインストールが完了します。

※ 専用ビューアーの使用及びインストールは管理者権限が必要となります。

1

3



2

4

14. 専用ビューアーの実行及び削除

1. デスクトップ上のショートカットアイコンまたは、ウィンドウのスタートメニューを選択して、下記のように“SmartReco”がインストールされている事を確認します。

2. “SmartReco”を実行します。

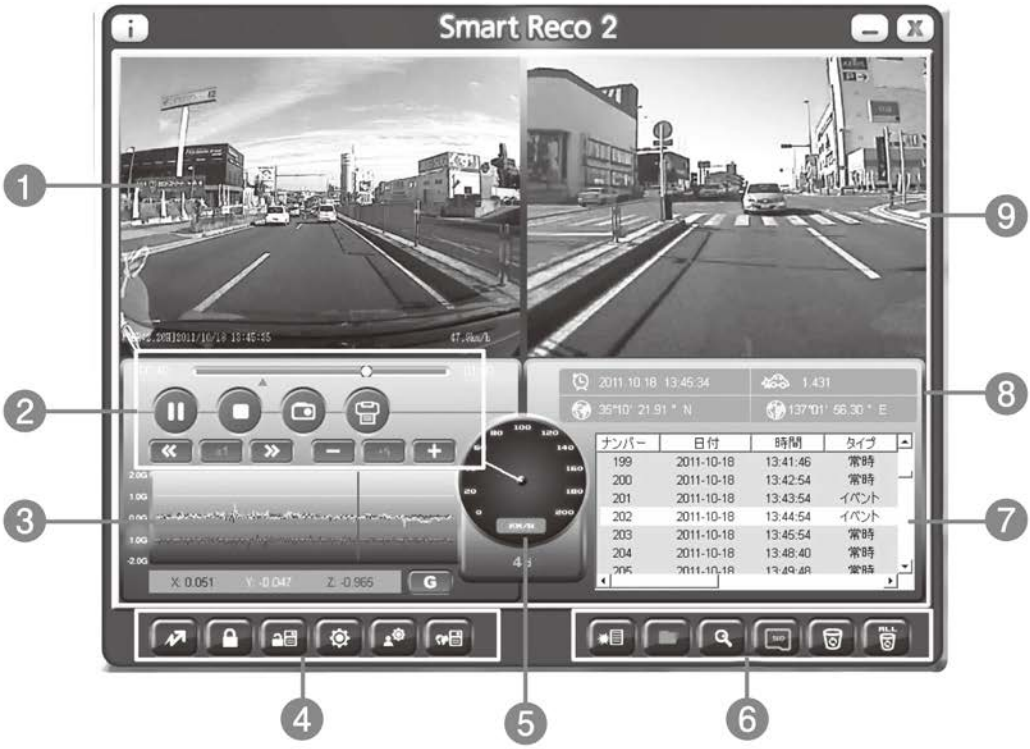
3. ビューアーを削除する場合は“Remove SmartReco”を実行します。

[デスクトップ画面のショートカットアイコン]

[スタートからプログラムの登録画面]

15. 専用ビューアーメイン画面の説明

1. メイン画面の説明です。



① 前方映像

② 映像操作ボタン

③ 速度/
3方向Gセンサーグラフ

④ スマートレココントロール

⑤ 速度計

⑥ ファイルコントロール

⑦ プレイリスト

⑧ 記録日時/最大加速度
緯度/経度

⑨ 後方映像(オプション)

※ 音声OFF設定で録画し再生すると、前方モニターの右下に『M』と表示されます。

16. ビューアーボタンの説明(1)

1. プログラムバージョン情報

プログラムのバージョン情報と著作権に関する情報を表示します。

2. 最小化ボタン

ステータスバーでビューアーを最小化します。

3. ビューアー終了

ビューアーを終了します。

4. 再生ボタン

ファイルリストで選択したファイルの再生を始めます。

5. 一時停止

再生中のファイルを一時停止します。

映像を再生している間は が に切替ります。

6. 停止ボタン

再生中のファイルを停止します。

16. ビューアーボタンの説明(2)

7. ビデオキャプチャー

再生中の前方と後方映像の表示画面をpngファイルで保存します。

8. 画面印刷

再生中の前方と後方映像の表示画面をプリンターで印刷します。

9. 再生スピード

再生速度を1/8、1/4、1/2、1、2、4倍速で調節することができます。

10. ボリューム

0～10までボリュームを調節します。

11. 3方向Gセンサー/速度グラフ

トグルボタンとなっており３方向Gセンサーと速度グラフを交互に表示します。GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

16. ビューアーボタンの説明(3)

12. 運行記録モード(走行ルート表示)

トグルボタンで運行記録モードと通常モードを切り換え、また運転記録情報を表示します。運転記録情報はGPSモジュールが正しく電波を受信していないと表示されません。

13. パスワードの設定

録画するファイルのパスワードを設定します。
SDHCカードをコンピューターに接続した後、設定することができます。

14. パスワード解除後保存

パスワード設定されているファイルのパスワードを解除し、指定されたフォルダーに暗号化を解除したファイルを新たに作成し保存します。パスワードを覚えていないとパスワード解除ができません。

15. ビューアーの環境設定

ビューアーの環境設定をして保存します。

16. ユーザー設定

本体の環境設定内容をSDHCカードに保存します。SDHCカードをコンピューターに接続した後、設定することができます。

17. マップ経路を見る

現在、映し出されている映像の位置をマップ上で表示します。GPS モジュールが正しく電波を受信していないと表示されません。

16. ビューアーボタンの説明(4)

18. イベント記録

3方向(X,Y,Z)Gセンサーにより、イベントが発生した加速度のデータをファイルに保存します。

19. ファイルを開く

映像ファイルを選択します。ShiftキーまたはCtrlキーを押した状態で、ポインターで指定したファイルをクリックすると複数のファイルを同時に選択することが可能です。

20. ファイル検索

特定日付に該当するファイルを検索します。

21. SDデータのダウンロード

SDHCカードに保存されているデータをコンピュータに取り込みます。

22. 選択項目の削除

リストで選択したファイルを削除します。

23. 全て削除

リストにある全ファイルを削除します。

17. ファイルを再生する

◆ 録画した映像をスマートレコ専用ビューアで再生する:
本体で録画した映像をスマートレコ専用ビューアーで再生する方法を説明します。

再生する手順

1. スマートレコ本体からSDHCカードを取り外し、スマートレコビューアーをインストールしたコンピューターに接続します。(コンピューターによっては、SDHCカードを認識するまでにしばらく時間がかかります。)
2. スマートレコビューアーを起動します。
3. SDデータのダウンロード ボタンを押すと左のSDHCカードのダウンロードウィンドが表示されますので、SDドライブが正しく選択されている事を確認した後に、実行ボタンを押してSDHCカード内のデータをダウンロードします。
※正しく選択されているとリストボックス内にファイルが表示されます。
4. ファイルにパスワードが設定されている場合、パスワード入力ウィンドが表示されますので設定したパスワードを入力します。(パスワードを設定していない場合は表示されません)
5. プレイリストに選択したファイルが表示され、自動的に再生が開始されます。

次の項目で説明するビューアーの環境設定及び本体の環境設定で、個人のニーズに合わせた様々な設定をする事ができます。

18. ビューアーの環境設定

◆ ビューアーの環境設定： スマートレコビューアーに個人のニーズに合わせた環境を設定することにより、必要なデータを表示することができます。ここではビューアーの環境設定の各項目を説明します。

1. ビューアーのメイン画面で、ビューアーの環境設定ボタン を選択します。
2. 画面キャプチャーフォルダ: 映像画面やマップ画面のコピーを保存するフォルダを指定します。
3. パスワード解除後保存するフォルダ: パスワードを解除したファイルの保存先を設定します。
4. 言語選択: 日本語を選択して下さい。
5. 速度単位：マイル／時またはキロメートル／時を選択します。
6. 走行ルート表示: マップで走行ルートをマーキングしながら表示する機能のON／OFFを選択します。
7. 走行ルート表示間隔: 走行ルート軌跡の表示間隔を指定します。

19. ユーザー設定（スマートレコ本体の環境設定）

◆ ユーザー設定：スマートレコ本体の機能設定を変更することができます。

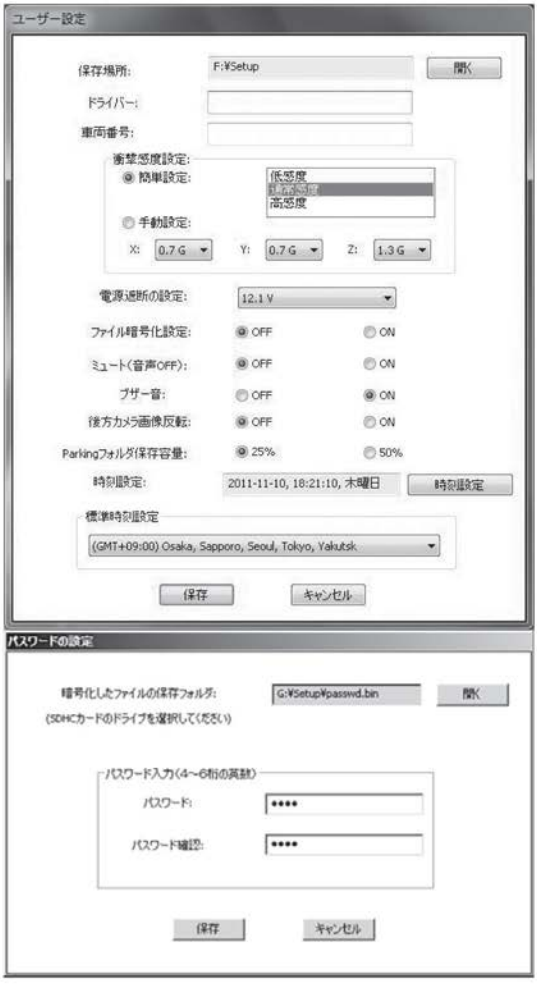
1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面でユーザー設定 ボタンを選択します。
3. ドライバー/車両番号: ドライバー別にSDHCカードを使用することができます。
4. 衝撃感度設定: 衝撃が起きた時、イベントを記録するための感度を設定します。簡単設定と手動設定のいずれかを選択します。
   手動設定の場合、X、Y、Z の値が大きいほど感度が低く、小さいほど感度が高くなります。
5. 電源遮断設定：駐車監視モード時の電源遮断電圧を選択することができます。
   初期設定は12.1Vです。

6. ファイル暗号化設定: 画像ファイルを暗号化するか、しないかを選択します。
   ファイル暗号化設定をONにすると“パスワード設定画面”で入力したパスワードにより記録される画像が暗号化されます。(詳しくは「20. パスワードによる画像の暗号化」をご参照下さい)
7. ミュート: ミュート(音声OFF) 機能を選択します。
8. ブザー音: ブザー音を使用するか選択します。
9. 後方カメラ画像反転： 後方カメラの画像を左右反転（ミラー写し）して録画します。
10. Parkingフォルダ保存容量： SDHCカード内のParkingフォルダ保存容量を設定します。
11. 時刻設定: 本体にSDHCカードを挿入し、電源を入れるとビューアーに入力した時間が反映されます。GPSモジュールが正しく装着されている場合は自動設定となります。
12. 標準時刻設定: 国別標準時間を設定します。基本値はPCの設定時間を読み込みます。

20. パスワードによる画像の暗号化

◆ ファイルにパスワードを設定する:
プライバシー保護のため、映像を暗号化して録画します。暗号化されたファイルは一般の映像プレーヤーで見ることが出来ません。

◆ スマートレコ本体のファイル暗号化設定の手順◆

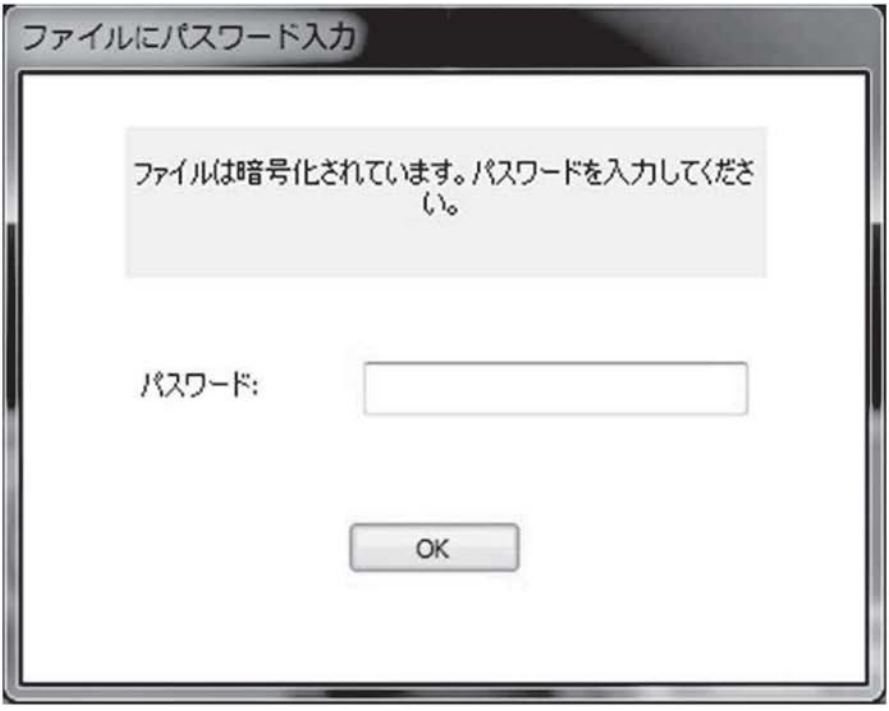


1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面よりユーザー設定 ボタンを選択し、ユーザー設定画面を開き“保存場所”にSDHCカードのドライブが選択されていることを確認します。
   ※ PCの性能によってはSDHCカードが認識されるまで暫く時間がかかります。
   さらに“ファイル暗号化設定”ボタンをONにして保存します。
3. ビューアーのメイン画面でパスワードの設定 ボタンを選択します。
   左下図の画面が出ればSDHCカードは正常に認識されています。
4. パスワード設定保存フォルダは自動的に作成されるフォルダです。パスワードとパスワード確認欄に同じパスワードを入力します。パスワードは英文、数字の組み合わせで4~6桁で入力します。
5. 保存します。

パスワードの設定はそれぞれのSDHCカードごとに必要です。
パスワード設定後に記録されたファイルを再生するには、必ずパスワードが必要となります。
忘れないように大切に管理してください。

21. 暗号化したファイルを再生する

◆ 暗号化したファイルを再生する:
パスワードの設定されたファイルを再生します。



◆ 暗号化したファイルを再生する◆

1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ファイル暗号化設定をONに設定し、パスワードを入力したSDHCカードに記録された映像を再生すると、左のウィンドが開き、パスワードの入力を求められます。

   前頁で設定したパスワードを入力して下さい。
   再生が始まります。
   再生手順は「17. ファイルを再生する」をご参照下さい。

22. 暗号化の解除

◆ 暗号化を解除する:
パスワードで暗号化されたファイルから暗号化を解除したファイルを作成し、指定されたフォルダーに保存します。

◆ 暗号化を解除したファイルを指定されたフォルダに保存する◆

1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. SDデータのダウンロード ボタンを押し、プレイリストに録画ファイルを表示させます。
3. 再生を行っている場合は、再生を停止させます。
4. プレイリストに表示されたファイルの中からパスワードを解除したいファイルを選択します。
5. パスワード解除 ボタンを押します。
6. パスワード入力ウィンドが表示されますので、設定してあるパスワードを入力します。
7. ビューアの環境設定 ボタンに指定してある「パスワード解除フォルダ」に暗号化が解除されたファイルが記録されます。

◆ 暗号化を止める場合は◆

暗号化を止める場合は、SDHCカードをコンピューターに挿入し、ユーザー設定で“ファイル暗号化設定”をOFFにして下さい。「19. ユーザー設定」をご参照下さい。
OFFにして保存ボタンを押すと、SDHCカードに本体設定ファイルが自動的に保存され、そのSDHCカードをスマートレコ本体に挿入し、起動したときにその設定が本体に反映されます。本体に設定が反映されるまで暗号化のON/OFFは変更されません。

23. ファイルを指定して再生する

◆ **ファイルを指定して再生する**：ファイルを指定して開くと自動的にファイルを読み込みながら再生が始まります。複数の特定ファイルを再生したい場合は、リストからファイルを選択した後、再生ボタンをクリックします。

※コンピューター本体に保存されたファイルを再生する場合も同様の操作を行ってください。

1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面でファイルを開く ボタンを選択します。
3. SDHCカードが入っているドライブを選択した後、下のフォルダの中からファイルを一つ選択し、“開く”ボタンをクリックします。
   複数のファイルを選択したい場合は、CtrlキーまたはShiftキーを押した状態にしてポインターでファイルを選択し、クリックすると複数のファイルを指定することができます。
   (a) Blackboxフォルダ: 常時保存フォルダで30分ごとの下位フォルダーが作成され、その中にファイルが保存されます。
   (b) Eventフォルダ: 衝撃発生時、及び強制保存時にファイルが保存されるフォルダ
   (c) Parkingフォルダ: 駐車時にファイルが保存されるフォルダ
4. メイン画面のリストでファイルを選択して再生 ボタンをクリックするかリスト項目をダブルクリックします。

24. 日付別に検索して再生する

◆ **日付別に検索して再生する**：特定の日付を指定すると、該当する期間のファイルを検索して自動的に再生を始めます。

1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面でファイル検索 ボタンを選択します。
3. 左図のように、SDHCカードが入っているドライブが自動的に選択されます。他のフォルダを指定したい時は“開く”ボタンを押して選択します。
4. 検索期間を設定します。開始または終了をチェックしなければ、表示された時間に関係なくチェックした日付を検索します。
5. “検索”ボタンを押すと設定した期間に該当するファイルを検索して自動で再生を始めます。
6. 特定のファイルを再生する場合は、リストで特定ファイルを選択して、再生 ボタンを選択するかリスト項目をダブルクリックします。
7. ファイル検索画面の“キャンセル”ボタンを押すと画面を消すことができます。

25. SDHC カードデータのダウンロードとフォーマット

◆ **SDHCカードデータのダウンロード:** SDHC カードに保存されているデータをコンピューターの特定フォルダに取り込みます。

1. スマートレコ本体から SDHC カードを取り出し、コンピューターに接続します。
2. ビューアーのメイン画面で SD データのダウンロード ボタンを選択すると、SDHC カードに保存されている映像データが表示されます。
3. SDHCカードのフォーマット：フォーマットするために、SDHC カードドライブを選択し、[フォーマット開始] ボタンをクリックするとフォーマット画面が表示されます。お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧下さい。(注) フォーマットは再生を始める前に行ってください。
4. SDHC ドライブ : 映像が保存された SDHC ドライブを選択します。
5. ダウンロード先フォルダ：PC への保存先フォルダを選択します。
6. 記録モード選択：ダウンロードするファイルの種類を選択して下さい。
7. PCに保存：SDHCカードデータを PC にダウンロード (保存) するかどうかを選択します。
8. プレイリストにコピー：リストからファイルをメイン画面のプレイリストに移動するかどうかを選択します。
9. 実行：選択しているデータを指定したフォルダにコピーした後再生を開始します。
10. キャンセル：SDHC カードデータのダウンロードウィンドウを終了します。
11. SDHC カードをフォーマットする場合はフォーマットする SD ドライブを選択し、フォーマット開始ボタンを押します。

※フォーマットすると、保存された映像は全て消去されます。

26. イベント記録

◆ **イベント記録**：３方向Gセンサーが検知した衝撃をテキストファイルで保存します。

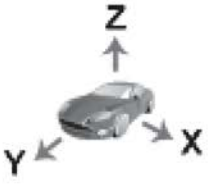
1. 本体からSDHCカードを取り出し、コンピュータと接続します。
2. ビューアーのメイン画面でイベント記録 ボタンを選択すると、左図のようにSDHCカードに保存されているイベントファイルをリストで確認できます。
3. イベントフォルダ:SDHCカードが接続されている場合は、自動的にEventフォルダを取り込みます。“開く”ボタンを押すとEventフォルダを選択することができます。
4. ファイルへ保存:選択したイベント記録をTXTファイル形式で保存します。

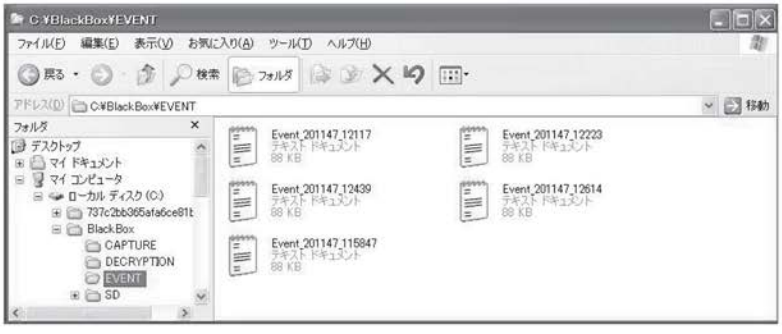
＊加速度の方向

X：進行方向の左側と右側

Y：進行方向

Z：垂直方向





[ファイル保存先]
マイコンピューター
¥C:¥BlackBox¥EVENT

27. 運行記録表示と運転者情報入力

1. 運行記録モード画面で、表示されるアイコンは以下の通りです。

ボタン	説明
	SDHCカードのsetupフォルダの中の運行記録ファイル(.dat)を開きます。
	マップ画面をキャプチャーしてbmpファイルとして保存します。
	マップ画面を印刷します。
	移動経路の再生中に走行日と時刻を表示します。
	移動経路を再生します。
	マーカーを表示します。
	移動経路を 1/2, 1, 2, 4 倍速で再生します。

2. 運転者情報入力はビューアーのメイン画面で、ユーザー設定 ボタンを押した後ドライバー、車両番号を入力しSDHCカードに保存します。ビューアーを再起動すると、運行記録モードに入力されたドライバーおよび車両番号を確認できます。

28. 運行記録表示

◆ 運行記録は駐車監視モードでは記録されず、走行中のみ10秒ごとに記録し、1週間単位で、SDHCカードのSetupフォルダの中に、datファイル形式で保存されます。datファイル内には、1週間の運行記録が保存され、最大5ファイルまで保存可能です。(ただし、GPSモジュールが正しく電波を受信している場合に限ります。)

1. スマートレコ本体からSDHCカードを取り出し、コンピューターに接続します。
2. スマートレコビューアーを起動します。
3. ビューアーのメイン画面の運行記録 ボタンを選択すると、運行記録モードが表示されます。
4. 左図のファイルを開く ボタンをクリックすると、SDHCカード内のSetupフォルダにあるdatファイルをリストで見る事ができ、ファイルを選択すると、日付別に運行記録のリストを見ることが出来ます。
5. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

※1 上の図では、走行時間には停車時間は含まれません。停車時間には、駐車時間は含まれません。

※2 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。

29. マップ表示

◆ マップ表示：走行したルートをマップで確認することができます。

ただし、GPSモジュールが正しく電波を受信している場合に限ります。

1. 画像確認中に、走行軌跡をマップに表示することができます。

2. マップキャプチャーボタンを押すと、ビューアの環境設定で指定してある
画面キャプチャーホルダーに、地図キャプチャーデータが保存されます。

3. 画面印刷ボタンを押すと、表示されているマップを印刷する事ができます。

30. 録画ファイル情報表示

[3方向Gセンサーグラフ]

✓ 上図のように、ビューアー画面で 3方向Gセンサーの情報を確認することができます。

[速度グラフ]

[速度計]

✓ 上図のように、ビューアー画面で速度グラフや速度計を確認することができます。GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

[記録日時/最大加速度/緯度/経度]

✓ 上図のように、ビューアー画面で記録日時、最大加速度、緯度、経度の情報を確認することができます。緯度、経度はGPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

31.SDHC カードの保存データ

【2チャンネル8GB SDHCカード使用の場合】

1. Blackboxフォルダ: 常時保存フォルダです。
   保存時間別のフォルダを作成し、1分単位でファイルを保存します。
   最大400個のファイルが保存できます。401番目のファイルを保存する場合は、1番目のファイルを削除して保存します。

   フォルダの作成例) mdr_20101029_1400 :
   2010年10月29日14時から保存したフォルダ

   ファイルの作成例) drf_20101029_140100 :
   2010年10月29日14時01分に保存したファイル

2. Eventフォルダ: 衝撃保存、強制保存などのイベントファイルを1分単位で保存します。フォルダ及びファイルの作成方法は常時保存と同じです。
   - 最大200個のファイルを保存できます。201番目のファイルを保存する場合は、1番目のファイルを削除して保存します。
3. Parkingフォルダ: 駐車監視ファイルを30秒単位で保存します。フォルダ及びファイルの作成方法は常時保存と同じです。
   - 最大400個のファイルが保存できます。401番目のファイルを保存する場合は、1番目のファイルを削除して保存します。

   ※使用するSDHCカードの容量に関わらず、駐車衝撃保存では最大30個のファイルが保存可能で、31番目のファイルを保存する場合は、1番目のファイルを削除して保存します。
4. Setupフォルダ: ユーザー設定フォルダです。運転記録情報を保存します。
5. SmartReco :専用ビューアーのインストール用プログラムです。

32.2チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数（常時50%）

◆以下の表はモード（常時、イベント、駐車監視）別に保存可能なファイル数とメモリ容量を示しています。
◆駐車監視モードでは、一定のモーション及び衝撃を感知した時にのみ画像を録画するため、常時録画ではありません。また、保存可能なファイル数は、ビューアーの“ユーザー設定”で25%か50%の２種類から選択する事ができます。

保存容量（2CH）	常時（1file60s）50%（デフォルト設定）			イベント（1file60s）25%（固定）			駐車監視（1file30s）25%（デフォルト設定）		
	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量
2GB	100	50	1GB	50	25	500MB	100	25	500MB
4GB	200	100	2GB	100	50	1GB	200	50	1GB
8GB	400	200	4GB	200	100	2GB	400	100	2GB
16GB	800	400	8GB	400	200	4GB	800	200	4GB
32GB	1600	800	16GB	800	400	8GB	1600	400	8GB

◆上記は2チャンネル（前方・後方）使用、各チャンネル最大15fpsで保存した場合のファイル数です。ファイル数と録画時間についての詳細は「３２．SDHCカードの保存データ」を参考にして下さい。
◆駐車監視の保存容量の設定を変更する場合は「１９．ユーザー設定」の「9. Parkingフォルダ保存容量」をご参照下さい。

※本製品は８GBのSDHCカードが標準装備となります。
※長時間の録画をご希望の場合は、保存容量の大きなSDHCカード（純正またはSanDiskクラス4以下最大32GB）をご使用下さい。

32.2チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数（常時25%）

◆以下の表はモード（常時、イベント、駐車監視）別に保存可能なファイル数とメモリ容量を示しています。
◆駐車監視モードでは、一定のモーション及び衝撃を感知した時にのみ画像を録画するため、常時録画ではありません。また、保存可能なファイル数は、ビューアーの“ユーザー設定”で25%か50%の２種類から選択する事ができます。

保存容量（2CH）	常時（1file60s）25%			イベント（1file60s）25%（固定）			駐車監視（1file30s）50%		
	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量	最大ファイル数（前&後）	最大保存時間（分）	容量
2GB	50	25	500MB	50	25	500MB	200	50	1GB
4GB	100	50	1GB	100	50	1GB	400	100	2GB
8GB	200	100	2GB	200	100	2GB	800	200	4GB
16GB	400	200	4GB	400	200	4GB	1600	400	8GB
32GB	1400	700	14GB	800	400	8GB	2000	500	10GB

◆上記は2チャンネル（前方・後方）使用、各チャンネル最大15fpsで保存した場合のファイル数です。ファイル数と録画時間についての詳細は「３２．SDHCカードの保存データ」を参考にして下さい。
◆駐車監視モードの最大容量は10GBまでとなります。（1チャンネルと2チャンネルで異なります。）
◆駐車監視の保存容量の設定を変更する場合は「１９．ユーザー設定」の「9.Parkingフォルダ保存容量」をご参照下さい。

※本製品は８GBのSDHCカードが標準装備となります。
※長時間の録画をご希望の場合は、保存容量の大きなSDHCカード（純正またはSanDiskクラス4以下最大32GB）をご使用下さい。

33.1チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数（常時50%）

◆以下の表はモード（常時、イベント、駐車監視）別に保存可能なファイル数とメモリ容量を示しています。
◆駐車監視モードでは、一定のモーション及び衝撃を感知した時にのみ画像を録画するため、常時録画ではありません。また、保存可能なファイル数は、ビューアーの“ユーザー設定”で25%か50%の２種類から選択する事ができます。

保存容量（1CH）	常時（1file60s）50%（デフォルト設定）			イベント（1file60s）25%（固定）			駐車監視（1file30s）25%（デフォルト設定）		
	最大ファイル数	保存時間（分）	容量	最大ファイル数	保存時間（分）	容量	最大ファイル数	保存時間（分）	容量
2GB	65	65	1GB	33	33	500MB	66	33	500MB
4GB	130	130	2GB	65	65	1GB	130	65	1GB
8GB	260	260	4GB	130	130	2GB	260	130	2GB
16GB	520	520	8GB	260	260	4GB	520	260	4GB
32GB	1050	1050	16GB	520	520	8GB	1050	525	8GB

◆上記は１チャンネル（前方）使用、最大30fpsで保存した場合のファイル数です。ファイル数と録画時間についての詳細は「３２．SDHCカードの保存データ」を参考にして下さい。
◆駐車監視の保存容量の設定を変更する場合は「１９．ユーザー設定」の「9.Parkingフォルダ保存容量」をご参照下さい。

※本製品は８GBのSDHCカードが標準装備となります。
※長時間の録画をご希望の場合は、保存容量の大きなSDHCカード（純正またはSanDiskクラス4以下最大32GB）をご使用下さい。

33.1チャンネル使用時のモード別保存可能ファイル数（常時25%）

◆以下の表はモード（常時、イベント、駐車監視）別に保存可能なファイル数とメモリ容量を示しています。
◆駐車監視モードでは、一定のモーション及び衝撃を感知した時にのみ画像を録画するため、常時録画ではありません。また、保存可能なファイル数は、ビューアーの“ユーザー設定”で25%か50%の２種類から選択する事ができます。

保存容量（1CH）	常時（1file60s）25%			イベント（1file60s）25%（固定）			駐車監視（1file30s）50%		
	最大ファイル数	保存時間（分）	容量	最大ファイル数	保存時間（分）	容量	最大ファイル数	保存時間（分）	容量
2GB	33	33	500MB	33	33	500MB	130	65	1GB
4GB	65	65	1GB	65	65	1GB	260	130	2GB
8GB	130	130	2GB	130	130	2GB	520	260	4GB
16GB	260	260	4GB	260	260	4GB	1050	525	8GB
32GB	600	600	9GB	520	520	8GB	2000	1000	15GB

◆上記は１チャンネル（前方）使用、最大30fpsで保存した場合のファイル数です。ファイル数と録画時間についての詳細は「32. SDHCカードの保存データ」を参考にして下さい。
◆駐車監視の保存容量の設定を変更する場合は「19. ユーザー設定」の「9.Parkingフォルダ保存容量」をご参照下さい。

※本製品は８GBのSDHCカードが標準装備となります。
※長時間の録画をご希望の場合は、保存容量の大きなSDHCカード（純正またはSanDiskクラス4以下最大32GB）をご使用下さい。
※32GB SDHCカードは、フォームウェアの制限事項として、Parkingフォルダ保存容量を50%にしても、駐車監視保存容量は最大15GBです。

34. 製品仕様

◆ 電源:	DC 12V/24V
◆ 消費電力:	最大4W（2チャンネル使用時）
◆ 前方カメラ:	130万画素／ CMOSカラー／ カメラ角度:360度
◆ 後方カメラ:	30万画素／ CMOSカラー／ カメラ角度:90度（垂直）
◆ 前方カメラ画角:	120度（水平）・90度（垂直）
◆ 後方カメラ画角:	90度（水平）・70度（垂直）
◆ 保存フレーム:	最大30 fps（1チャンネル使用時） 最大15 fps（2チャンネル使用時）
◆ 有効画像サイズ:	640 x 480
◆ オーディオ:	内蔵型マイク
◆ ビデオ出力:	1
◆ 保存媒体:	スマートレコ純正SDHCカード（最大32GBまで）
◆ 外形寸法:	前方カメラ102 x 53 x 29 mm ／ 後方カメラ59.6 x 33 x 21.5 mm
◆ 重量:	前方カメラ70g（SDHCカード含む） ／ 後方カメラ60g
◆ 動作温度:	-20℃ ～ 70℃
◆ 耐冷耐熱温度:	-40℃ ～ 85℃
◆ 電源自動遮断機能装備	
◆ ビューアー対応OS：	Windows XP SP3/ Windows Vista SP2以上/ Windows 7(Windows 7は32bit・64bit) （ディスプレイ解像度1280×720以上が必要です） ※注意※ Windows7 Starter、MacOS、Linux等には対応していません。

スマートレコのホームページはこちら　http://www.smartreco.jp/
ソフトウェアダウンロードパスワード　smareco
※ ホームページよりユーザー登録をお願いいたします。

※ 本製品並びに製品仕様は品質向上のために予告なしに変更または修正される場合があります。
※ SMARTRECOは、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
※ 本書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。

保証書

[製品保証規定]

1. 保証期間は製品を購入した日から1年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理又は同等品との交換を行います。
   その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書(レシート等)が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
   - お客様の取扱い不注意による故障。
   - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
   - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
   - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
   - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
   - 弊社指定のサービス店以外で修理・改造・分解が行われた場合。
   - 消耗品
   - 本保証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
   - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させて頂く場合がございます。
   - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

【輸入販売元】
株式会社ホワイトハウス
〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139
URL: http://www.whitehouse.co.jp/

【インフォメーションセンター】
0561-67-5511
受付時間10:00～18:30
(水曜日・弊社指定休日を除く)
URL: http://www.smartreco.jp/

製品保証書

製品名	スマートレコ	
製造番号		
保証期間	購入日　　年　　月　　日から　1年間	
お客様	お名前	連絡先
	住所	
販売店		

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life

WHITE HOUSE good time, good drive

発売元 株式会社ホワイトハウス
本社 〒465-0024 名古屋市名東区本郷 3-139
スマートレコ インフォメーションセンター Tel.0561-67-5511
www.smartreco.jp MADE IN KOREA